



学校便り

長崎中央児童専門学校

令和4年10月3日

第11号

文責 校長 平野

～ 愛と 平和と 一生懸命 ～

9月27日(火)、
(株)ジャパネットたかた創業者高田明氏に講話をしていただきました。V・ファーレン長崎のメッセージ通りの話でした。以下、その内容を掲載します。



【「愛」 = 相手を想う】

お話から伝わってきたのは、商品を売るときも、サッカークラブを引き受けたときも、そして、平和を口にするときも常に「相手を想う心や尊敬する心」=相手への「愛」を持ち続けてきたということでした。



【「平和」の文化を大切に】

「長崎スタジアムシティプロジェクト」が目指すことの1つはスポーツで平和を訴えることだそうです。8月9日に、田上市長が長崎平和宣言で語った「平和の文化」を育むことにつながるようになりました。



V・ファーレン長崎
マスコットウイグルくん
平和の文化イメージ
キャラクターに就任

「嘉代子桜3世プロジェクト」についてコメントを求めると、「やり方は違うけど、長崎スタジアムシティプロジェクトとやろうとしていることは同じですね」という大変ありがたい言葉をもらいました。



嘉代子桜2世
擬人化したイラスト
絵・石黒悠真

【「一生懸命」生きる】

「平戸のカメラ屋さんをどうやって年商1700億円の企業へ成長させたんだろう」子ども達の疑問は、まず、そのことでした。「今を生きるつもりにならずに『今を生きる』』というのが答えの1つでした。

令和3年11月24日朝日新聞

そう言えば、昨年話してもらった熊谷知香さんを取り上げた新聞の見出しも、このようなことばでした。



実は、高田氏が本校での講話を決めたきっかけは、「愛してるよカズ」の話をもとにした「命の教育」の取り組みを知ったからでした。



出版 長崎文藝社
著者 光武 綾

「命には役割がある」ことを思い出し、そのためにも今を「一生懸命」生きるというメッセージを心に留めて欲しいと思います。

【伝える力】

「僕と契約を結びませんか」

TVショッピングの物真似にチャレンジした西山君のことばです。



突然投げかけた質問に、皆あ然としながらも、その勇気に対して拍手を送りました。

高田氏の答えは「僕が現役だったら雇ってあげたいんだけど、代わりに僕が書いた本を送ってあげるよ」というものでした。

学校にも直筆サイン入りの本をいただきましたので、図書室に置かせてもらいます。

手に取って見てください。成長のためのヒントがあるはずです。



東洋経済新報社



～ 孔子廟講話と変面ショー ～

裏面では、9月16日（金）に行われた標記講話について紹介します。

【 孔子について 】

「孔子ってぶっちゃけどんな人だったの」という子ども達の純粋な疑問に答えるために、副館長様が、孔子を演じた館長様と漫才のような掛け合いを交えながら、その人生や人柄、教えについて話してくださいました。



右..小林副館長
左..潘館長

金髪で眼鏡をかけちょっとお茶目な姿の潘館長様のおかげで、中国 3000 年の時を超えて、孔子に親近感持って学ぶことができました。

【 変面ショー 】

体育館というすごく近い距離で観る変面ショーは、まさに迫力満点。



軽快な音楽と切れのある演技に魅了され面が変わる度に「オー」という歓声が沸き上がりました。演者：京介様に感謝です。

【長崎と中国】

「中国の子ども達はどれくらい勉強していますか」など、孔子のことに限らず、暮らしぶりや文化についての質問にも、一つひとつに丁寧に答えていただきました。



江戸時代、唯一外国に港を開いていたのが長崎です。中国の人もオランダさんも長崎に住んでいました。

子ども達にはその歴史を生かし、今からさらに国際交流が大切になってくる時代に向けて、皆が仲良く暮らすためのヒントを発信できる人になって欲しいと思います。

給食は中華料理のマーボー豆腐に変更してもらいました。



孔子の教えについて学ぶとともに、国際交流について体感できた一日でした。

潘館長一押しのことば

「有教無類」

(教育の前に差別はない)



【 行事予定 】

10月

- 5日（水） 市中総体駅伝競走大会
- 11日（火） 実力テスト（3年生）
- 12日（水） 進路説明会（3年生）
- 19日（水）～21日（金）
修学旅行（2年生）
- 21日（金） 模擬選挙（3年生）
- 24日（月） 専門部会・委員会
- 26日（水） 生徒評議会
- 28日（金） 小中合同防災訓練
- 31日（月） 生徒集会

※3年生は、12日に進路説明会、11月にはいよいよ三者面談が始まります。